



学校だより

令和2年6月30日

ひびき 7月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

様々なお協力に感謝 ～落ち着いた学校づくりに向けて～

学校長 大塩 啓介

学校が再開されたと思ったら、もう7月になります。2か月間（前年度からを含めれば3か月間）の休業から、やっと正常な状態に戻りつつあります。私たちは今、過去になかったことを経験しています。

再開にあたり、一番に考えたことは、児童が円滑に学校生活に戻れるかということでした。新しい生活習慣も始まります。そのため、第一期においては無理をしないことを徹底いたしました。登校リズムを崩さないために、午前だけの授業としました。いきなり45分間の授業では、児童の集中力も続かないことは予想できましたので、35分という短い授業で始めました。

第二期においては、授業時間はそのまま、授業時間数の確保のため第三期を見据え、午前5時間としました。中休みの時間を3時間目の間にずらしてとることで、休み時間の密の回避を図りました。これは、一年間継続して行ってまいります。

そして、いよいよ第三期を迎えます。授業は40分授業の最大7時間授業、給食も開始されます。今年度から新学習指導要領の全面実施でありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、児童同士のグループでの話し合いなど、様々な学習活動が制限されます。そうした状況の中、各担任の授業の工夫により、40分での授業を行うこととしました。ICTや視聴覚機器を活用して授業の効率化を進めつつ、学習の本質を落とすことがないよう、6月中旬に学習の進め方についての研修を行いました。また、6月第4週からは個人面談を行い、ご家庭との意思疎通と児童の状況把握に努めたところです。

この間、集団登校において、各ご家庭、登校班で様々な工夫をしていただきました。児童の登校の状況は「新しい生活様式」を意識して、登校するときに、学校における密をきちんと避けることができている。また、再三にわたりメールを流させていただき、情報過多になっているのではと心配しておりましたが、きちんとお読みいただき、適切に各ご家庭においてご対応いただいています。保護者の皆様のご協力は、本当に助かりました。感謝申し上げます。

まだ、これからが学校再開の本番です。6月は毎週初めに校長から児童に放送で話をさせていただきました。げた箱に靴を入れたときにかかとをそろえる「かかとびた」、登下校と学校での生活の中では走らず大声を出さない等の話をしました。7月も児童一人一人が安心して学校生活を送れるよう、落ち着いた学校づくりに取り組んでまいります。